

## 医師会長再任雑感

美幌医師会

会長 田中 克彦



早いもので、私が美幌医師会の会長に就任し、6年が経ちました。この2年余りは、医師会活動といえば、コロナ対策に明け暮れています。保健所と連携し、当地域の感染状況のモニタリングを行い、医師会でPCR検査センターの設置も行いました。また、コロナワクチン接種体制の構築と実施、発熱外来の設置など対応に追われていたように思います。どの医師会もこの未知なるウイルスの対応に苦慮されていたと思いますが、コロナ対策に、時には試行錯誤が続く中、当会においても会員の協力には頭が下がる思いです。総会や理事会もコロナ禍の影響で満足にできない状態が続き、会員同士の交流も以前より希薄になっているように私は感じ始めました。

令和4年8月現在、美幌医師会の会員数は23人で

す。平成27年度には最大33人の会員がいましたが、勤務医の減少と開業医の閉院などで、会員数はあっという間に減少しました。今後、美幌医師会として自治体と協力し、勤務医の確保及び開業支援体制の構築を図っていきますが、早急な対応は必須です。

私は、多職種連携の勉強会の代表をしています。この会では美幌町と津別町の医療・介護従事者を対象に、効率の良い医療介護連携のあり方を考えています。その中で、いつも感心させられるのは津別町の医療と介護連携の効率の良さです。少ない人材の中で頼み事に迅速に対応し、情報の共有も行い、側から見ると和気藹々と「顔の見える連携」を実践しています。この連携がいかに大事であるかいつも学ばせてもらっています。

今後は、医師会も、会員数を増やす努力と共に、活動を円滑に行うためにも、会員同士の交流をより密なものとし、「顔の見える連携」を図っていくのが、私の会長4期目の課題なのかなと漠然と考えるようになりました。それにしても、何時になったら酒を酌み交わし会員同士が語り合える日が来るのでしょうか。

## お知らせ 第49回（令和4年度）全道医家囲碁大会 中止のお知らせ

令和4年11月に札幌市内で開催を予定していた第49回（令和4年度）全道医家囲碁大会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者の健康・安全を考慮した結果、開催を中止することといたしましたので、ご案内申し上げます。



—全道医家囲碁連盟事務局—